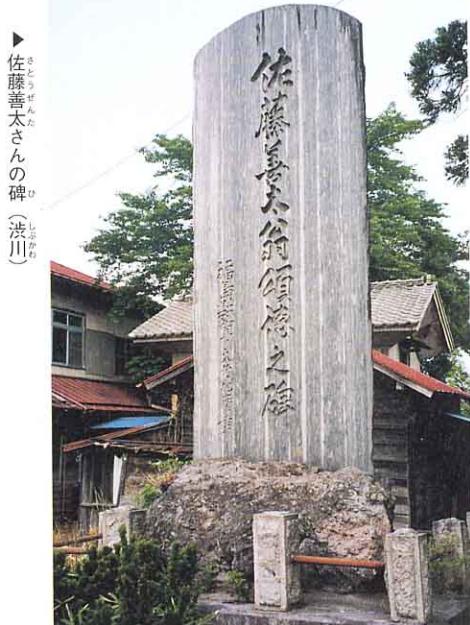


(2) かいこをかけてまゆをとる仕事（ようさんの仕事）

安達町が今のように發てんするもとになった仕事のひとつによるさんの仕事があります。安達町の農家は昔、ほとんどの家でかいこをかけていました。そして、よいまゆがたくさんとれるように研究やくふうをしてきました。安達のきぬ（かいこのまゆからとった糸でおったきれ）は昔から全国でも有名でした。それはたくさんの人たちがいっしょにけんめいくふうし、努力したからなのです。今も農家には家のそば

に家よりももつと大きなかいこをかう家が残っています。



町内にはかいこをかう研究をし、よい方法をみんなに教えてくださった先生たちの碑ひがたくさんたてられています。



▲ようさんの仕事のようす（かいこにえさをやる仕事）



おじいさんや、おばあさんに、かいこをかう仕事についてどんなくろうがあったのか、どんなくふうをしたのか、いろいろお話を聞いてみましょう。

- （そんなに）さかんだったようさんの仕事が、今はあまりおこなわれなくなりました。どうしてそうになったのかそのわけをおうちの人にたずねてみましょう。
- そのかわりに今安達町の農家の人たちはどうな仕事にとりくんでいるか、自分の地いきのようすをみてしらべてみましょう。